

第 65 回日本臨床細胞学会秋期大会のご案内

第 65 回日本臨床細胞学会秋期大会を下記の日程で開催する予定です。

※開催形式は、現地参加とオンデマンド配信を併用したハイブリッド形式の採用を検討しております。

会期：2026 年 11 月 22 日（日）～23 日（月）

会場：幕張メッセ 国際会議場

〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1

会長：前田一郎（北里大学医学部病理学/北里大学北里研究所病院病理診断科）

副会長：山上 亘（慶應義塾大学医学部産婦人科）

澁木康雄（国立がん研究センター中央病院臨床検査科）

プログラム委員長：三上芳喜（熊本大学病院病理部）

実行委員長：小穴良保（北里大学北里研究所病院病理診断科）

事務局長：星野昭芳（北里大学北里研究所病院病理診断科）

主催事務局：北里大学北里研究所病院病理診断科

〒108-8642 東京都港区白金 5-9-1

本会のテーマは「伝統の継承から未来へ」といたしました。

これまで脈々と受け継がれてきた技術や知見を礎に、次のステージへと進む時が来ています。まさに“イノベーション”のとき、伝統の継承と未来への挑戦です。

たとえば、液状化細胞診（LBC）は今後ますます可能性が広がる分野です。細胞形態の人工知能（AI）による解析や、LBC 検体を用いたゲノム異常の検出と臨床応用など、技術と知見が融合することで新たな展開が期待されています。

日本の臨床検査士は、世界に誇れる優れた技術と人材を有しており、その力を最大限に発揮できる環境づくりが今、求められています。しかし、これらの革新は一部の人だけで成し遂げられるものではありません。多くの細胞診専門医や細胞検査士の知識と経験、そして協力が不可欠です。

本会では、こうした先進的な取り組みに加え、日常業務における課題についても活発に議論できる場あるいは ICT を活用したプラットフォームを企画しております。伝統の技術を確実に継承しつつ、新たなイノベーションを生み出す——そんな大会となることを心より願っております。